



# 撫川・舞川・奥西川地区 『人・農地プラン』

1

令和3年3月17日  
香南市農林水産課

## 撫川・舞川・奥西川地区の人と農地の課題と背景

2

### ■ 課題

撫川・舞川・奥西川地区は、農地の山林化が進行しており、農地管理が困難になりつつある。しかも担い手/後継者の不足の状況もあり、地区の耕作放棄地増や山林化が進行していることが課題です。

### ■ 課題とした理由/背景

- ・ 撫川・舞川・奥西川地区 営農アンケートより：  
子供はいるが農業後継者ではないという状況も含め、**後継者不在割合が73%**ある。耕作者のみならず、受け手も高齢化が進んでいる。こうした状況下で、**農業者の26%は高齢化等による離農**を考えている状況にある。  
また、既に過疎が進行しており、田畑が山林化している状況にある。

# 地区の課題の要因

- 結果に至る原因を人、モノ、カネ、情報の4要因に分解
- 要因の元（矢印の元）に対して対応策を立案

**金（農業経営）**

**物（インフラ/環境）**

農業(稲作)の採算が合わない

手取りが少ない

収益面で見込める作物がない

差別化/ブランド化ができていない

賃料が下がって税、賦課金等の負担があり維持できない

山の手入れができていない

獣（猪・鹿）の数が多

山間部で坂道が多く農作業に不都合

基盤整備/河川改修ができていない

車が入れない/水がなく不便

すでに山林化

6次産業化が途上である

農業だけ/兼業で食べていける仕組み

山田でもできる作物の奨励が不足

農地を貸す、売する方法がわからない

子供たちは農業する意思がない

若い人は他産業に就いている

家族/親戚に継ぐ気がない

希望が持てない

耕作者/借り手が高齢化

体力/気力の低下

アイデアを話す人やリーダーがいない

遠方、県外在住耕作地まで遠い

**情報/仕組み**

**人（農業者）**

なぜ不耕作地が増加するのか

赤字：アンケートに同様の内容の記載あり

## 課題対応方針/施策

4

### ■方針（基本的な考え方）

撫川・舞川・奥西川地区は、後継者の不足が課題であり、その要因の改善のため農業経営向上、情報取得（特に農地流動化および新規就農）の強化を通じて、地区の農地の維持につなげる。

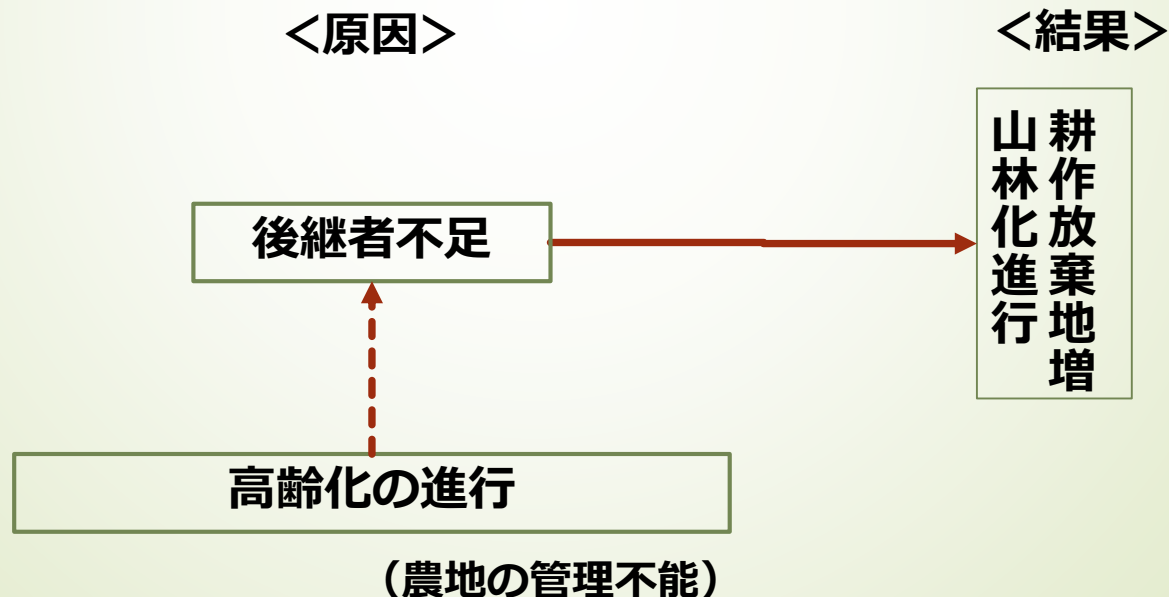
### ■施策（取組み）

方針	施策 (なにを)	目標 (どこまで)	担当（誰が）			期限 (いつ)
			地区 農業者	行政 農業委員会	農業公社 振興C,JA、他	
農業経営向上を通じて農地の維持	・事例を通じた収益改善のノウハウの理解促進	・ <b>農業経営の向上（特に山間地における）</b> にむけた研修会開催依頼/受講	◎		農業振興C JA、他 ◎	R3. 通年
		・ツーリズム（サービス）+農業の検討	◎	○	AirBnB ◎	R3. 上期
	・HP等を通じた情報を受ける仕組みづくり（市のHP経由で農業経営/農地情報が得られる仕組み）	・ <b>新規就農支援情報</b> の閲覧可能化	◎	農林水産課 ◎		R3. 上期
		・農地の集約/賃貸の方法の <b>情報取得</b>	○	農業委員会 農林水産課 ◎	農業公社 ○	R3. 上期

## <参考資料>

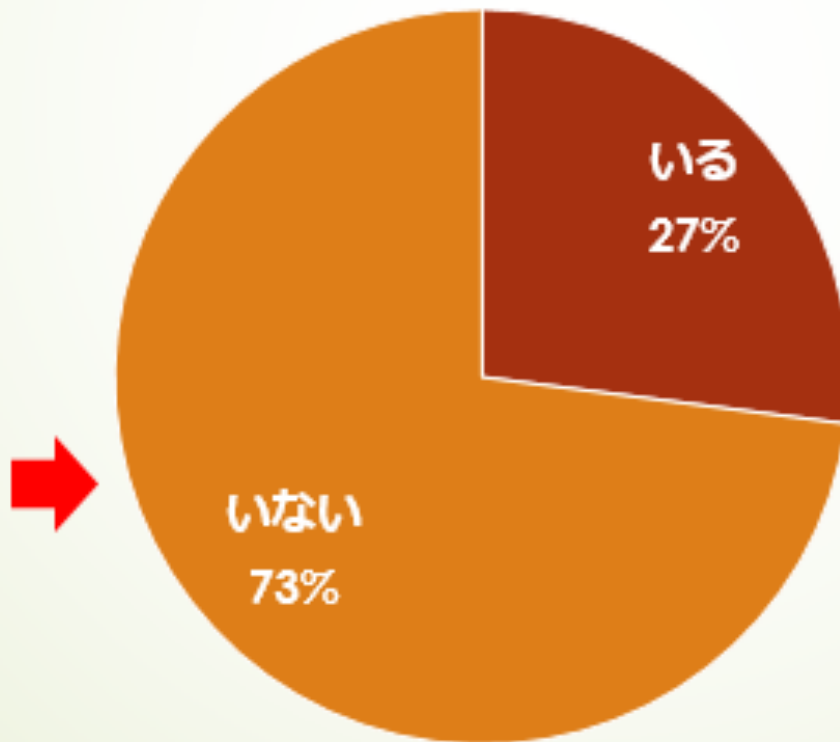
- 以下は、プラン原案策定に向けて使用した参考資料です。

- 昨年実施した営農アンケートより下記が撫川・舞川・奥西川地区の課題であることが読み取れる。（アンケートの集計結果参照）
  - 高齢化が深刻化している状況で、しかも後継者も不足している。
  - 田畑の山林化や耕作放棄地が増加している状況がある。
- これらを原因/結果の形に表現すると次のイメージとなる。



農業後継者の有無

農業後継者

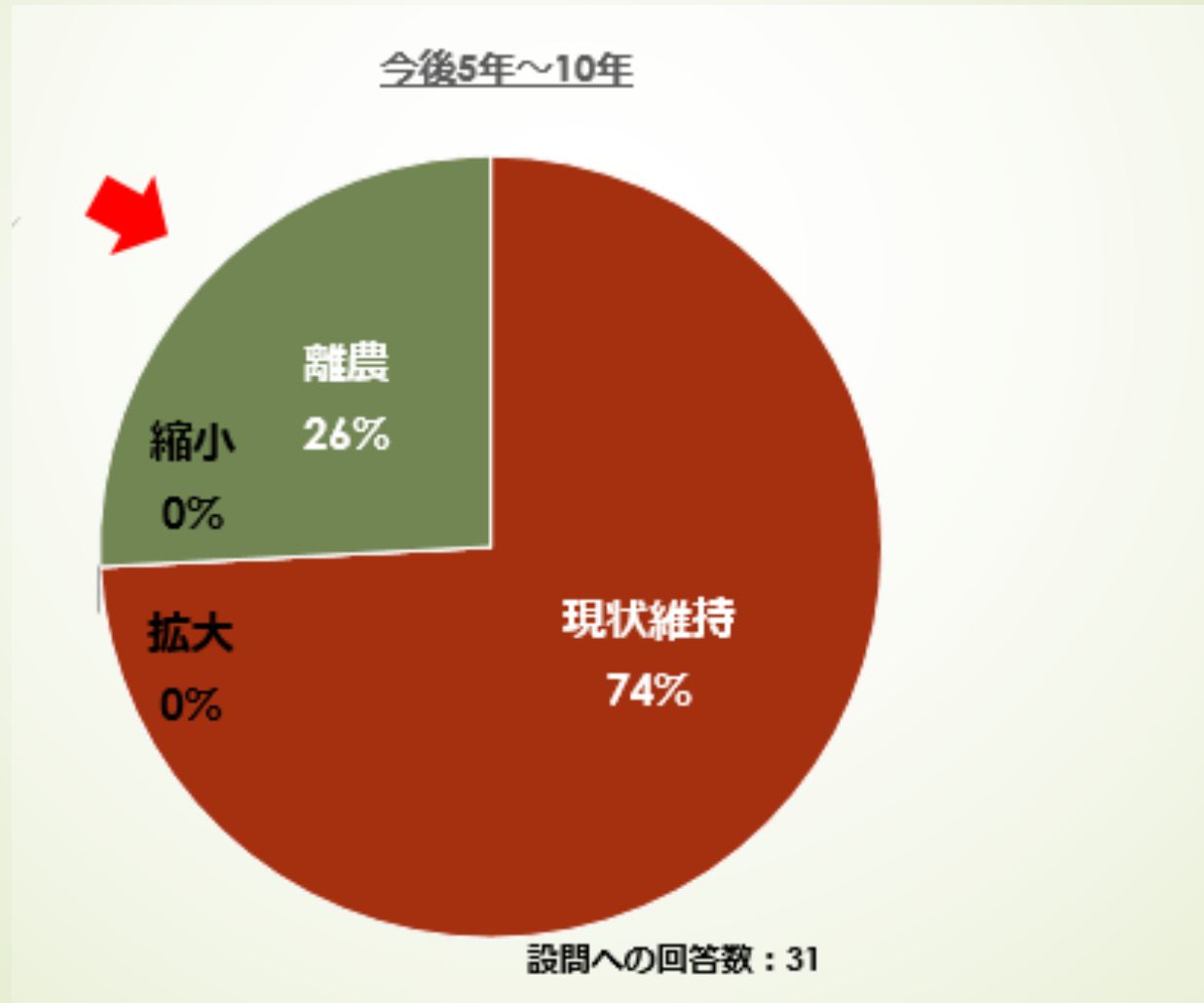


コメント

- ・ 息子が4月に定年退職するので、農地は管理されると思う。

設問への回答者数 : 37

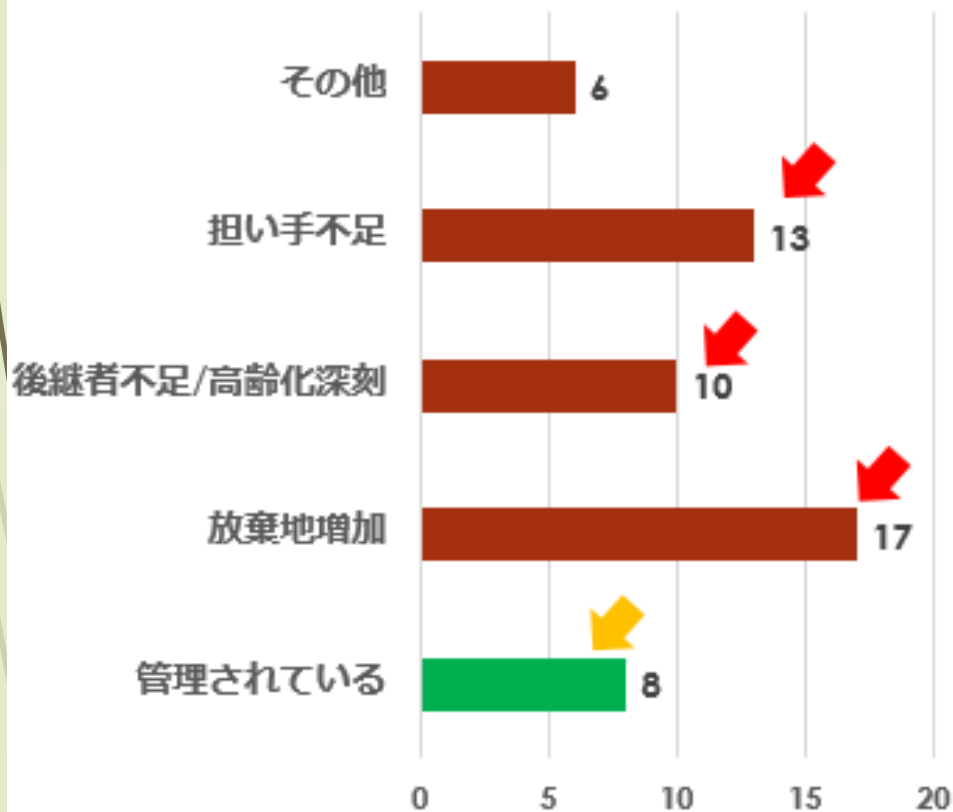
今後の営農の意向





地域の農業への認識

地域の農業者/農地の状況



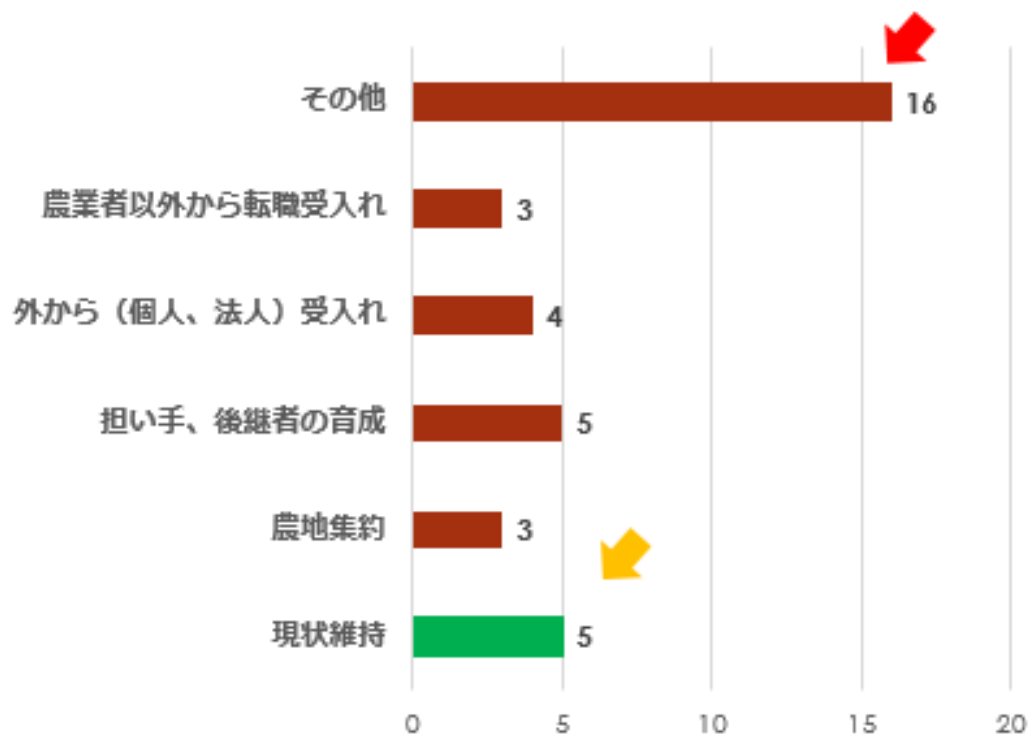
設問への回答数 : 54

コメント :

- 動物の数が住民の数より多いので耕作できない。4~5年位前から耕作ゼロである。
- 当地域は既に廃れてしまっている。
- 共有名後の土地で、残っている。現在は45年生位の山林となっている。その他は原野状態です。
- 購入時植林後、約40~50坪の杉山林であります。
- 農地はありません。全部山林です。
- 農地から林地になっている。
- 困っているのは山林です。
- 山の手入れに行っているが、西日本豪雨にて橋が流され、手入れもままならない。早期に橋をつけていただきたい。
- 親戚と共同作業。
- わからない。(2)

地域の農業が5~10年後も持続可能なものとするために

持続可能な農業



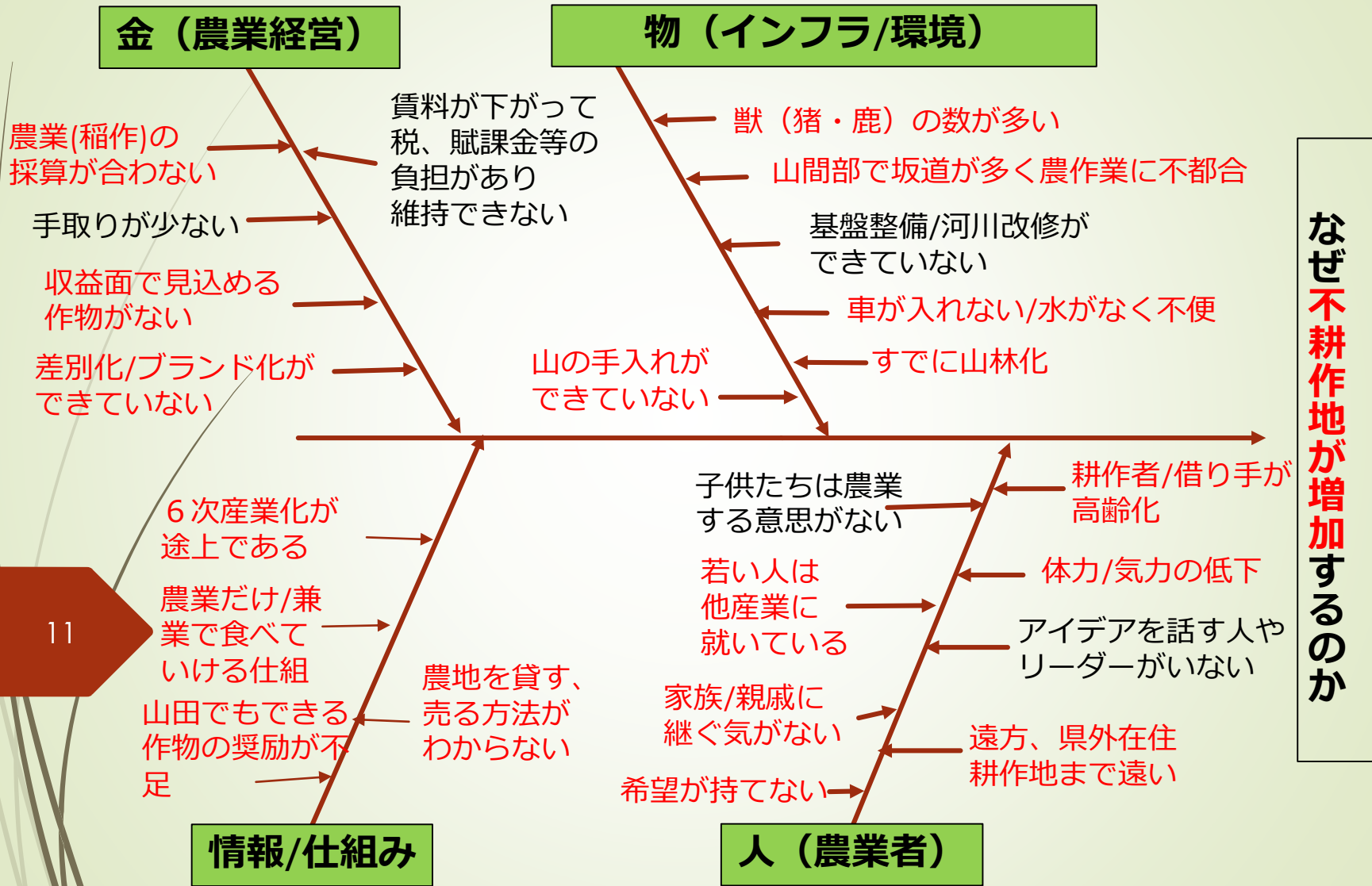
コメント

- ・わからない。(7)
- ・柚子の木の植え付け、及び杉の木の植え付け
- ・現状のまま

設問への回答数 : 36

# 地区の課題の要因

## ■ 結果に至る原因を人、モノ、カネ、情報の4要因に分解



## 農業委員/推進委員の方々との話し合い (2/15)

12

- 地区の耕作放棄地の発生を防ぐための項目/施策内容の検討

